



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シモジマ
コード番号 7482 URL <http://www.shimojima.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下島 和光
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 谷中 浩三 TEL 03-3862-8626
四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,436	1.3	1,536	△29.5	1,593	△30.6	1,005	△24.9
25年3月期第3四半期	36,973	1.5	2,179	△9.5	2,297	△9.4	1,338	△5.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 962百万円 (△28.5%) 25年3月期第3四半期 1,345百万円 (△5.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	42.86	—
25年3月期第3四半期	57.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	37,684	30,884	81.9	1,314.18
25年3月期	37,221	30,403	81.5	1,292.32

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 30,844百万円 25年3月期 30,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—		
26年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,730	2.1	2,130	△12.6	2,220	△13.2	1,360	△13.7	57.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	24,257,826株	25年3月期	24,257,826株
26年3月期3Q	787,311株	25年3月期	787,185株
26年3月期3Q	23,470,598株	25年3月期3Q	23,470,741株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀が一体となった財政・金融政策により円高修正や株価の上昇など、全体として景気回復に向けた動きが見受けられました。一方、当社が属する業界においては、為替変動による輸入価格の値上がりや原材料価格の上昇など、極めて厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは経営理念である「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」ことを基本に販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。

営業販売部門においては、新規顧客開拓と既存顧客の深耕取引に注力すると共に、第1四半期から継続して実施しております主力商品の紙袋と化成品の拡販に努めてまいりました結果、特注品の獲得等により売上は増加いたしました。

店舗販売部門においては、積極的な販売促進施策を実施すると共に、売場のリニューアル、取扱商品及び販売価格の見直しや接客レベル向上などを図ってまいりましたが、売上の回復までには至りませんでした。

利益面においては、円安等の理由により輸入品の仕入コストが上昇し、粗利率が低下いたしました。

販売費及び一般管理費においては、業務の効率化による人件費削減等により、全体では前年並みに抑えることができました。しかしながら、営業利益は粗利率の低下が大きな要因となり、大幅な減少となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は374億36百万円（前年同期比1.3%増）となりました。利益面においては、連結営業利益15億36百万円（前年同期比29.5%減）、連結経常利益15億93百万円（前年同期比30.6%減）、連結四半期純利益10億5百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[紙製品事業]

紙袋・包装紙・紙器は当社グループの主力商品であり、主に当社オリジナルブランド商品を販売いたしております。当第3四半期連結累計期間においては、紙袋は特注品の受注が増えたことにより、売上増を確保いたしました。包装紙については需要の減少により、売上は微減となりました。この結果、紙製品事業の連結売上は74億1百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

[化成品・包装資材事業]

化成品・粘着テープ・食品関連包材・紐リボン等一般包装資材は社会ニーズに適合した商品開発を推進し、販売強化を図っております。当第3四半期連結累計期間においては、引き続き化成品の特注品受注強化、食品容器関連資材の売上強化に努めてまいりました。この結果、化成品・包装資材事業の連結売上は194億74百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

[店舗用品事業]

事務用品・商店用品・日用雑貨等含む店舗用品事業は、オリジナルブランド商品を含め多岐に亘っております。「店舗及び事務所で使用するあらゆる物が揃う」をコンセプトにした販売体制を整え事業展開を進めております。当第3四半期連結累計期間においては、主力である文具・事務用品の拡販、日用雑貨品におけるオリジナルブランド商品の開発に努めましたが、クリスマスを中心とした季節イベント商品の販売が不振となりました。この結果、店舗用品事業の連結売上は、105億60百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、376億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億62百万円増加しました。流動資産は197億9百万円となり、5億77百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が17億49百万円減少しましたが、たな卸資産が6億70百万円、売上債権が15億10百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は179億74百万円となり、1億14百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は67億99百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円減少しました。流動負債は45億92百万円となり、1億29百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億91百万円増加しましたが、未払法人税等で2億16百万円、賞与引当金で2億7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。また、固定負債は22億6百万円となり、1億11百万円増加いたしました。主な要因は長期リース債務が52百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、308億84百万円となり、4億80百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が5億23百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇し、81.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月21日公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間より、株式会社エスティーシーは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,964	6,214
受取手形及び売掛金	5,345	6,856
商品及び製品	4,697	5,362
原材料及び貯蔵品	485	490
その他	651	798
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	19,132	19,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,345	5,107
土地	7,280	7,280
その他（純額）	1,552	1,837
有形固定資産合計	14,179	14,225
無形固定資産		
のれん	73	46
その他	1,273	1,129
無形固定資産合計	1,347	1,175
投資その他の資産		
その他	2,613	2,634
貸倒引当金	△51	△61
投資その他の資産合計	2,562	2,573
固定資産合計	18,088	17,974
資産合計	37,221	37,684

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,358	2,649
未払法人税等	772	556
賞与引当金	323	116
役員賞与引当金	41	19
その他	1,226	1,251
流動負債合計	4,722	4,592
固定負債		
退職給付引当金	765	816
その他	1,329	1,390
固定負債合計	2,095	2,206
負債合計	6,817	6,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,304	1,304
利益剰余金	34,489	35,013
自己株式	△877	△878
株主資本合計	36,321	36,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	111
繰延ヘッジ損益	2	116
土地再評価差額金	△6,228	△6,228
その他の包括利益累計額合計	△5,990	△6,001
少数株主持分	72	39
純資産合計	30,403	30,884
負債純資産合計	37,221	37,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	36,973	37,436
売上原価	24,636	25,768
売上総利益	12,336	11,667
販売費及び一般管理費	10,157	10,131
営業利益	2,179	1,536
営業外収益		
受取利息	27	17
受取配当金	3	3
受取賃貸料	20	22
為替差益	29	—
雑収入	104	132
営業外収益合計	184	175
営業外費用		
売上割引	57	30
支払利息	0	—
為替差損	—	73
雑損失	7	14
営業外費用合計	65	118
経常利益	2,297	1,593
特別利益		
投資有価証券売却益	0	105
保険解約返戻金	0	8
特別利益合計	1	114
特別損失		
固定資産除却損	6	—
その他	1	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	2,291	1,708
法人税等	961	735
少数株主損益調整前四半期純利益	1,330	972
少数株主損失(△)	△8	△33
四半期純利益	1,338	1,005

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,330	972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△123
繰延ヘッジ損益	3	113
その他の包括利益合計	15	△9
四半期包括利益	1,345	962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,354	994
少数株主に係る四半期包括利益	△8	△32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,382	18,916	10,674	—	36,973	—	36,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	—	750	758	△758	—
計	7,382	18,924	10,674	750	37,731	△758	36,973
セグメント利益	1,109	2,006	235	16	3,368	△1,189	2,179

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,189百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,401	19,474	10,560	—	37,436	—	37,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9	—	779	788	△788	—
計	7,401	19,483	10,560	779	38,225	△788	37,436
セグメント利益	1,160	1,274	273	33	2,741	△1,204	1,536

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,204百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。